

早春のご挨拶

2009年、新年のご挨拶をお送りせぬまま、もう2月を迎えてしまいました。

春を迎える準備をしている草木や、ふりそそぐ光りに、春の兆しを少し感じています。

昨年暮れにご要請もうしあげた冬季カンパへの御礼とともに、この間の協会の主な動きと2008年度の定時総会の予定などをお知らせいたします。



2009年 新春の集い

日比谷公園・南部亭にて開催

恒例になっている新春の集いを1月16日の正午、東京の日比谷公園の中にある南部亭で開催いたしました。昼食をかこみながら、お互いに今年1年間の活動の決意を述べ合いました。



中田理事長が療養中でもあり、鳥生忠佑前理事長の挨拶と、小田成光代表理事からは、暮れにお見舞いに行かれた中田先生の思いの外お元気そうだった様子を写真とともにご報告いただきながら、乾杯の音頭をとられました。海部事務局長からは、昨年の全国理事会で矢田部理先生より問題提起された「キューバの5人」の救済に関するアミカス・キュリエ、法廷助言人の手続き等についての報告がなされました。

それぞれが短い中に、キラリと光るエッセンスを交え、とても示唆に富むご挨拶が続きました。

- ・年末年始の読書は、オバマ研究ですごした。
 - ・退官した裁判官が、地域で民主的諸活動に参加していることに励まされた。
 - ・昨年の松井先生を偲ぶ会で、協会の設立の原点を思い興された。
 - ・ようやく、健康も回復し、今年は、刑事事件を中心に取り組もうと思っている。
 - ・昨年は、大病を嫌い、命からがら生還した。
 - ・このデタラメな政治、テレビをみても新聞を読んでも怒り心頭。どうにかせねば。
 - ・妻の転勤により、別居生活に終止符をうてることになった。
 - ・なによりも命が大事。すべての問題を「命」を原点に考えれば解決が見いだせるはず。
- 等々...

数日前まで「年越し派遣村」のテントで埋め尽くされていた日比谷公園は、餌をついばむ鳩と、日だまりで遊ぶ幼子たちが占拠していました。



中田直人理事長ご逝去

昨年の春より入退院をくりかえされていた中田直人先生が、2月3日、午後12時20分、逝去されました。心より御冥福をお祈り申し上げます。

2月6日に通夜、7日には葬儀と告別式が、ご自宅のある水戸市で執り行われました。

協会からは、中田先生と同期であり、茨城大学でともに教鞭をとられた新井章先生から弔辞を、指命焼香には、小野寺利孝副理事長に立ち会っていただきました。

中田先生のご追悼については、次号の「法と民主主義」に掲載の予定ですが、先生の足跡とその活動について簡単にご紹介いたします。

また、改めて「偲ぶ会」を準備したいと考えておりますが、協会にとっては、現職の理事長を喪うのは、雪入益見先生以来の出来事です。

執行部は、協会活動の柱を失い、呆然としています。定時総会までは、海部事務局長が理事長代行を勤めながら、対外的な関係では、前理事長ないしは理事長経験者の諸先生方にその役割をお願いしながら、この危機を乗り越えたいと考えています。どうぞ、全国の会員諸氏のご協力をお願い申し上げます。



故中田直人先生の足跡

- 1931年 1月 石川県生まれ
- 1951年 11月 司法試験第二次試験合格
- 1957年 4月 司法修習を終え、弁護士登録（9期、東京弁護士会所属）
- 1989年 3月 弁護士名簿登録取消・東京弁護士会退会
- 4月 茨城大学人文学部教授（裁判法・刑事訴訟法担当）
- 1991年 12月 茨城県平和委員会会長（～94年4月）
- 1996年 3月 茨城大学定年退官
- 1996年 9月 日本国民救援会茨城県本部会長（～2008年11月）
- 1996年 4月 関東学院大学法学部教授
- 1997年 6月 弁護士登録（茨城県弁護士会）
- 2001年 3月 関東学院大学退職
- 9月 茨城県知事選挙立候補
- 2007年 7月 日本民主法律家協会理事長（～現在）

・学会及び社会における活動等

- 松川事件 メーデー事件 公安条例事件主任弁護人
- 布川事件弁護団 自由法曹団（元事務局長）
- 日本民主法律家協会理事 日本国際法律家協会理事
- 日本刑法学会会員 民主主義科学者協会法律部会会員
- 日本法社会学会会員 日本犯罪社会学会会員 比較法史学会会員

・主要著書

- 松川運動全史 大衆的裁判闘争の15年（共著）1965年労働旬報社
- 人権と公判闘争（共著）1966年労働旬報社
- 安保条約下の治安体制（共著）1969年新日本出版社
- 市民と刑法 刑法改正問題を考える（共著）1975年大成出版社
- メーデー事件裁判闘争史 1982年白石書店
- 思想的犯罪に対する研究<復刻版> 1991年新興出版社
- 憲法判例をつくる（監修・共著）1998年日本評論社



写真（どちらも水戸医療センターの病室にて）

上： 2008.1.2.3 鷲野忠雄先生、小田成光先生、新井章先生の3人でのお見舞いの様子

下： 2009.1.2.4 タダノ会 による中田先生の誕生会
茨城大学・関東学院大学の中田先生の教え子たちの集まり



インフォメーション



法律家三団体共同製作リーフレット 裁判員制度で刑事裁判はどうなる？ が完成！！

裁判員制度について、法律家と市民がともに考え、制度の問題点についての共通認識をもつこと、そして、正すべきものは正していくことが、大切だと考えています。
そのために、裁判員制度の手の流れに沿って、制度的な問題点を明らかにするためにリーフレットを作成しました。ぜひご活用ください。～本文より～

1部10円（送料別） ご注文受付中
詳しくは本部事務局（電話：03-5367-5430）までお問合せ下さい。



「法民」の拡大にご協力を！

ここ数ヶ月の特集企画に、脚光が・・・。
どうぞ、周りの方にお薦め下さい。
あと500部拡大できると、価格にも頁数にも大きな変化が可能になります。

これからの主な日程

- 3月12日(木) 憲法委員会例会
詳細は下記を御参照
- 3月27日(金) 全国・常任合同理事会
(18時～本部会議室)
- 6月27日(土) 第48回定時総会(予定)

当面の「法民」特集企画

- 2/3月号(436)
国際水準から見た日本の人権状況(仮題)
自由権規約委員会の最終見解の勧告内容をどう読み、どう活かすか
- 4月号(437)
「憲法と資本主義」の歴史と現在(仮題)
- 5月号(438)
平和秩序・平和に生きる権利と憲法9条(仮題)

3月憲法委員会のご案内

「憲法と資本主義」の歴史と現在

「100年に一度の危機」の序論

3/12(木)

17時30分～20時

杉原泰雄 先生（一橋大学名誉教授・憲法学） 日民協本部3階会議室

「アメリカ発」の金融・経済危機がグローバルに拡大し、その軍事的覇権主義も行き詰まりを呈するなか、自由・平等・民主・平和などの憲法の諸原理と資本主義の関係を改めて問い直す時機にさしかかっています。昨年『憲法と資本主義』（勁草書房）を上梓され、憲法と資本主義の歴史的展開をふまえて現在の問題状況を打開する視座を提示された杉原泰雄先生に、「100年に一度の危機」と呼ばれる現状をどう捉え展望を切り拓いていくか、縦横に語っていただき、討議したいと思います。みなさんふるってご参加下さい！

資料の準備がございますので、御参加いただける方は本部事務局までご連絡ください。